

監査報告書

社会福祉法人 桜梅会
理事長 山崎要志 殿

平成 26 年度決算監査を平成 27 年 5 月 12 日（火）に、丹波桜梅園会議室に於いて実施致しました。

提出になりました平成 26 年度決算書に基づく各会計諸帳簿、証拠書類、預貯金証書、利用者預かり金帳簿、他関係書類を照合・審査した結果、正確明瞭に記帳されており、各会計共、決算計数は、何れも相違なく、本決算書は正確なものと認めます。

尚、決算の内容について、補足させていただきます。

26 年度も、本部会計におきましては、保護者会と後援会、更には、関係各位から多額の寄付金を頂き、何時も変わらぬ、ご支援に対し心からお礼を申し上げます。

施設運営につきましては、「ふれあい開放デイ」や地域に出掛けての「清掃活動」等々、地域に開かれた施設づくりに向け、利用者と共に積極的に取り組んで頂いて居ります事に感謝を申し上げます。

作業関係においては、各作業班の生産品を、近隣の商店様にも購入頂き、更には、京丹波町内の保育所・小学校・中学校の卒業式や入学式に於いて、装飾班で生産されたコサージュを胸に、晴れやかな表情で、園児や生徒さん達が式に臨んで居られる姿が CATV で放映されて居り感動致しました。又、道の駅「皿引き」や「丹波マーケス」。「ぶらり嵐山」や「竹野サロン」等でも積極的に販売活動を展開される中、アルミ缶や廃油の回収、生産品の納品等にも利用者と共に地域へ出かけ、企業の方や地域の方々との触合いや交流にも繋がる取り組みを実施されています事にも合わせて感謝を申し上げます。

今後におきましては、昨年 5 月に開設した相談支援事業の運営も含め、今、社会福祉法人に求められて居る地域貢献を積極的に展開される事。更には、丹波桜梅園の利用者が安心して楽しく生活を送れる様、事故防止委員会との連携を密にし、支援体制の強化と「地域に開かれた」「地域に愛され」「地域から応援して頂ける」施設づくりを目指し、尚一層のご尽力を頂きます事をお願いし、監査の一端を述べ監査報告と致します。

平成 27 年 5 月 16 日

監事

川口 忠夫 

監事

井上 茂 